



R.Kaji

THE MARCH STAKES

第31回 マーチステークス (GIII)

1着 賞 38,000,000円 2着 15,000,000円 3着 9,500,000円 4着 5,700,000円 5着 3,800,000円
 付加賞 497,000円 142,000円 71,000円

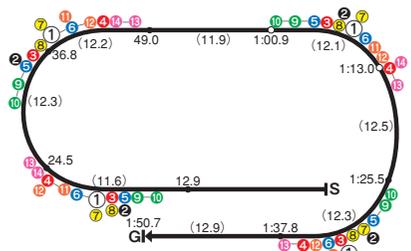


4歳以上、2023.3.25以降2024.3.17まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 ハンデキャップ

2024.3.24 中山 曇・良 ダ1800m (国際 指定)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	ヴァルツァーシャル	牡 5	57	斎藤 新	1:50.7	7-7-7-7	36.2	504(±0)	11.4⑦	高木 登(美浦)	109
2	⑬	ミトノオー	牡 4	57.5	木幡巧也	1 ½	1-1-1-1	37.8	520(+16)	7.5④	牧 光二(美浦)	108
3	⑭	ベイシャエス	牡 5	58	横山和生	3	2-2-2-2	37.6	500(+2)	5.9②	小西一男(美浦)	105
4	③	キタノヴィジョン	牡 7	57	石川裕紀人	¾	9-10-11-7	36.7	496(-2)	44.3⑬	萱野浩二(美浦)	102
5	⑥	ラインオブソウル	牡 5	54	松若風馬	アタマ	6-5-6-5	37.2	522(+14)	68.7⑯	音無秀孝(栗東)	
6	⑩	ブライアンセンス	牡 4	57	横山武史	1 ¼	3-4-4-4	37.7	514(±0)	2.8①	斎藤 誠(美浦)	
7	⑧	ダノンレット	牡 6	54	岩田望来	1	9-9-9-9	37.2	516(+8)	52.6⑪	菊沢隆徳(美浦)	
8	⑦	ゴールドハイアー	牡 6	57	津村明秀	ハナ	7-7-7-10	37.4	500(-2)	9.8⑥	大久保龍志(栗東)	
9	⑤	ニューモニュメント	牡 8	58	小崎綾也	¾	11-11-12-12	37.0	496(+5)	44.9⑫	小崎 憲(栗東)	
10	⑨	クリノドラゴン	牡 6	57	田口真太	クビ	13-13-13-13	36.6	488(±0)	160.7⑱	大橋勇樹(栗東)	
11	⑪	キリンジ	牡 4	57	和田竜二	アタマ	5-5-5-5	37.8	490(-1)	17.1⑩	佐々木晶三(栗東)	
12	②	キタノリ्यूオー	牡 6	57	原 優介	2	11-11-9-10	37.6	470(-6)	8.4⑤	萱野浩二(美浦)	
13	④	ウェルカムニュース	牡 5	57	戸崎圭太	4	3-3-2-2	39.3	508(-4)	7.2③	池江泰寿(栗東)	
14	⑫	ホウオウルバン	牡 6	56	内田博幸	3 ½	14-14-14-14	37.6	526(-4)	118.5⑳	池上昌和(美浦)	

単勝①1,140円(7 ½%) 複勝①360円(7 ½%) ③330円(6 ½%) ④240円(2 ½%) 枠連①-⑧2,260円(10 ½%)
 馬連①-⑬4,570円(21 ½%) ワイド①-⑬1,990円(26 ½%) ①-⑭1,260円(16 ½%) ⑬-⑯1,160円(15 ½%)
 馬単①-⑬10,380円(46 ½%) 3連複①-⑬⑭13,130円(49 ½%) 3連単①-⑬⑭102,040円(349 ½%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
 36.8 - 49.0 - 1:00.9 49.8 - 37.7

アラカルト

- ・斎藤新騎手はマーチS初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算5勝目
- ・高木登調教師はマーチS初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算9勝目
- ・マクフィ産駒はJRA重賞通算3勝目
- ・5歳馬の勝利は22年メイショウハリオに続く通算12回目

ヴァルツァーシャル *Walzer Schall*

牡 鹿毛 2019.4.22生
北海道浦河町 梅田牧場生産
馬主・ウエスト・フォレスト・ステイブル(株) 美浦・高木登厩舎
馬名意味・円舞曲の響き(独)

フオルカーUSA系 F13-c

マクフィGB Makfi 鹿毛 2007	Dubawi 鹿毛 2002	Dubai Millennium Zomaradah
	Dhelaal 鹿毛 2002	Green Desert Irish Valley
バイカーキン 鹿毛 2013	エンパイアメーカーUSA 黒鹿毛 2000	Unbridled Toussaud
	アブラシオ 鹿毛 2005	グラスワンダーUSA ジュウジホウセキ

5代までのインブリード: Danzig S4×M5 Mr.Prospector S5×M5
Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

梅田幹也代表(梅田牧場)

本当に頑張ってくれたと思います

ミトノオーが逃げ切るかと思っていたところ、この馬がもの凄いい脚で来たのでとても驚きました。本当に頑張ってくれたと思います。上手くりードしてくれた斎藤騎手に感謝いたします。また、生産馬ホワイトフーガと同じチームで勝てたことも嬉しいです。本馬は牧場時代から筋肉質でダート向きの体形をしていました。性格も従順で、いい仔が生まれたなと思いました。



R.Kaji

ユニコーンSで小差の4着に追い込むなど、早くから「重賞級」の下地を示していた本馬だが、3番人気に支持された昨年のマーチSは最下位(16着)に大敗、以降はしばらく精彩を欠いた。それでも暮れの師走Sで2着に追い込み、復調のきっかけを掴むと、1月のポルックスSに続いて重賞も連勝。出色の上がりタイム(36秒2)を記録して鮮やかに差し切ったこの日の走りからも、今後の躍進に期待が膨らむ。

父マクフィGB

英、仏6戦4勝(英2000ギニー^{G1}、ジャックルマロワ賞・仏^{G1}、ジェベル賞・仏^{G3})、11年から英、新、仏、日で供用
〔代表産駒〕**ボヌヴァル** Bonneval(ATCオークス・豪^{G1}、ニュージーランドオークス^{G1}、アンダーウッドS・豪^{G1})、**メイクビリーヴ** Make Believe(仏2000ギニー^{G1}、フォレ賞・仏^{G1})、**マクファンシー** Mkfancy(クリテリウムドサンクルー・仏^{G1})、**ソフィアローザ** Sofia Rosa(ATCオークス・豪^{G1})、**マキーマーク** Marky Mark(マナワツサイヤーズプロデュースS・新^{G1})、**ニードルアンドスレッド** Needle And Thread(ロイヤルS・新^{G2})、**エクスパット** Expat(ATCミリーフォックスS・豪^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母バイカーキン

北海道浦河町 梅田牧場生産 不出走

ラナチャンス(18 牡父ミッキーアイル)中央13戦2勝

ヴァルツァーシャル 本馬(19 牡父マクフィGB)中央19戦6勝(マーチS^{GIII}、ポルックスS^{Op}、北総S、師走S・L2着、総武S^{Op}2着)
獲得総賞金139,335,000円

レイズカイザー(20 牡父ヘニーヒューズUSA)中央7戦2勝 ㊟

レイズトワイライト(21 牡父サトノダイヤモンド)中央2戦1勝 ㊟

(22 牡父モズアスコットUSA)

(23 牡父カリフォルニアクロームUSA)

祖母アブラシオ

北海道浦河町 梅田牧場生産 中央1勝。17年死亡

ソルブレーサ(12 牡父エンパイアメーカーUSA)中央3勝(白馬岳特別)、地方6勝(園田FCスプリント3着)

バイカーキン(13 前出)

オーヴァルエース(16 牡父ヘニーヒューズUSA)中央3勝(ヒヤシンス^{SOp}、寒椿賞)、種牡馬

曾祖母ジュウジホウセキ

北海道浦河町 梅田牧場生産 中央1勝。11年用途変更

ウメノコトブキ(98 牡父グルームダンサーUSA)中央5勝(福沢特別、苦小牧特別)、障害0勝

トラストジューゲム(02 牡父スキャッターザゴールドCAN)中央6勝(門松S^{Op}、甲南S、上賀茂S、瀬波特別)

アブラシオ(05 前出)

ホッコーガンバ(08 牡父ゼンノロブロイ)中央4勝(道新スポーツ賞)

前年の雪辱を果たし重賞初制覇

2020年の優勝馬スワーヴアラミスはその後、重賞を2勝、22年のメイショウハリオも1競走を3勝している。5歳時に飾ったマーチSの勝利をさらなる飛躍に繋げた先の2頭と同様今年のレースを制したのも5歳の新星ヴァルツァーシャル。惑星候補の1頭と目されていたマクフィ産駒が1年前の大敗から巻き返し、重賞ウイナーの間に入り果たした。

昨年の兵庫チャンピオンシップを6馬身差で圧勝、浦和記念でも2着に逃げ粘ったミトノオーが外枠から意欲的に飛び出して先手を主張、次第にリードを広げて風を切る。トップハンデターの58kgを課された重賞2勝馬ベイシ

ヤエスが離れた2番手に続き、前走の仁川Sでクビ差の2着に食い下がったウエルカムニュース、2勝クラス戦、3勝クラス特別を連勝して挑んだ東海Sで4着に追い込んだフライアンセンスは直後の3、4番手を追走。前々で運んだ上位人気馬に対し、抜群のスタートを切ったヴァルツァーシャルの斎藤新騎手は自然体で位置を下げ、中団のインを進んだ。

速いラップを刻みながらも単騎の大逃げに持ち込み、気分よく飛ばしたミトノオーは十分な余力を残して4コーナーをターン。先に手心えが怪しくなった好位勢を尻目に押し切りを狙う。しかし3コーナーで馬群の外へ持ち出し、追撃態勢を整えた斎藤騎手が仕掛けると、ヴァルツァーシャルも息の長い末脚を発揮。残り200m地点でも5馬身近くのリードを開いていたミトノオーに猛然と襲い掛かり、一気に抜き去ってゴールに飛び込んだ。